

地域の再生と国のかたち —東日本大震災の教訓を活かす—

2014年1月12日（日） 13時～17時

日本学術会議講堂（東京メトロ千代田線 乃木坂駅 5出口下車すぐ）

主催：日本学術会議地域研究委員会人文・経済地理と地域教育分科会

参加費無料・事前予約不要（直接会場へお越し下さい。）

開催趣旨

3.11東日本大震災と原子力災害からすでに3年を経ようとするものの、また復興ビジョンや復興計画は立てられたものの、被災住民の帰還や被災地域の復旧・復興への足取りは重い。

日本学術会議は東日本大震災復興支援委員会を立ち上げ、2011年には7次にあたる緊急提言や「復興の目標と7つの原則」

（第1次・第2次）や「未来のエネルギー選択」に関する提言を行い、2012～13年には東日本復興支援委員会を設置し、地震・津波・原子力災害に関する問題対策や取り組み態勢に関わる提言を行ってきた。

今、学術の側に求められるのは、これまでの復旧・復興への取り組みを総点検するとともに、今後の被災地域の復旧・復興への取り組みが未来の国のかたちのあり方とどのように結びつくのかという新しいグランド・デザインを提示することであろう。

このシンポジウムでは、文理融合・連携という視点から地域という場を通じて自然と人間社会のあり方に関わる調査研究を進めてきている地理学から、新しい「地域の再生と国のかたち」をいかに描いていくべきかについて提示し、新しいグランド・デザインの議論を専門家と非専門家の壁を超えて深めていきたい。

プログラム

司会

- 碓井照子（日本学術会議第1部会員・奈良大学文学部名誉教授）

パネリスト

- 山川充夫（日本学術会議第1部会員・帝京大学経済学部教授）
- 高阪宏行（日本学術会議連携会員・日本大学文理学部教授）
- 大江守之（日本学術会議連携会員・慶応大学総合政策学部教授）
- 戸所 隆（日本学術会議連携会員・高崎経済大学地域政策学部教授）
- 松原 宏（日本学術会議連携会員・東京大学総合文化研究科教授）

コメンテータ

- 春山成子（日本学術会議連携会員・三重大学生物資源学研究科教授）
- 大滝精一（日本学術会議特任連携会員・東北大学経済学部教授）
- 長坂俊成（立教大学社会学部教授）

パネルディスカッション・コーディネータ

- 矢ヶ崎典隆（日本学術会議連携会員・日本大学文理学部教授）

後援団体

地理学連携機構、公益社団法人日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、一般社団法人地理情報システム学会、日本地図学会、福島大学つくしまふくしま未来支援センター、科研費基盤研究(S)「東日本大震災を契機とする震災復興学の確立」プロジェクト

問合せ先

科学研究費基盤研究(S)プロジェクト 事務局 瀬戸真之（福島大学）
E-mail: r689@ipc.fukushima-u.ac.jp TEL: 024-504-2865
日本学術会議事務局 第一部担当 嶋津 TEL: 03-3403-5706